

長野県の金融経済動向

(2024年2月6日)

【概況】

長野県経済は持ち直している。

最終需要の動向をみると、設備投資は増加している。また、個人消費は緩やかに増加している。住宅投資は弱含んでいる。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。

この間、生産は横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得は持ち直している。

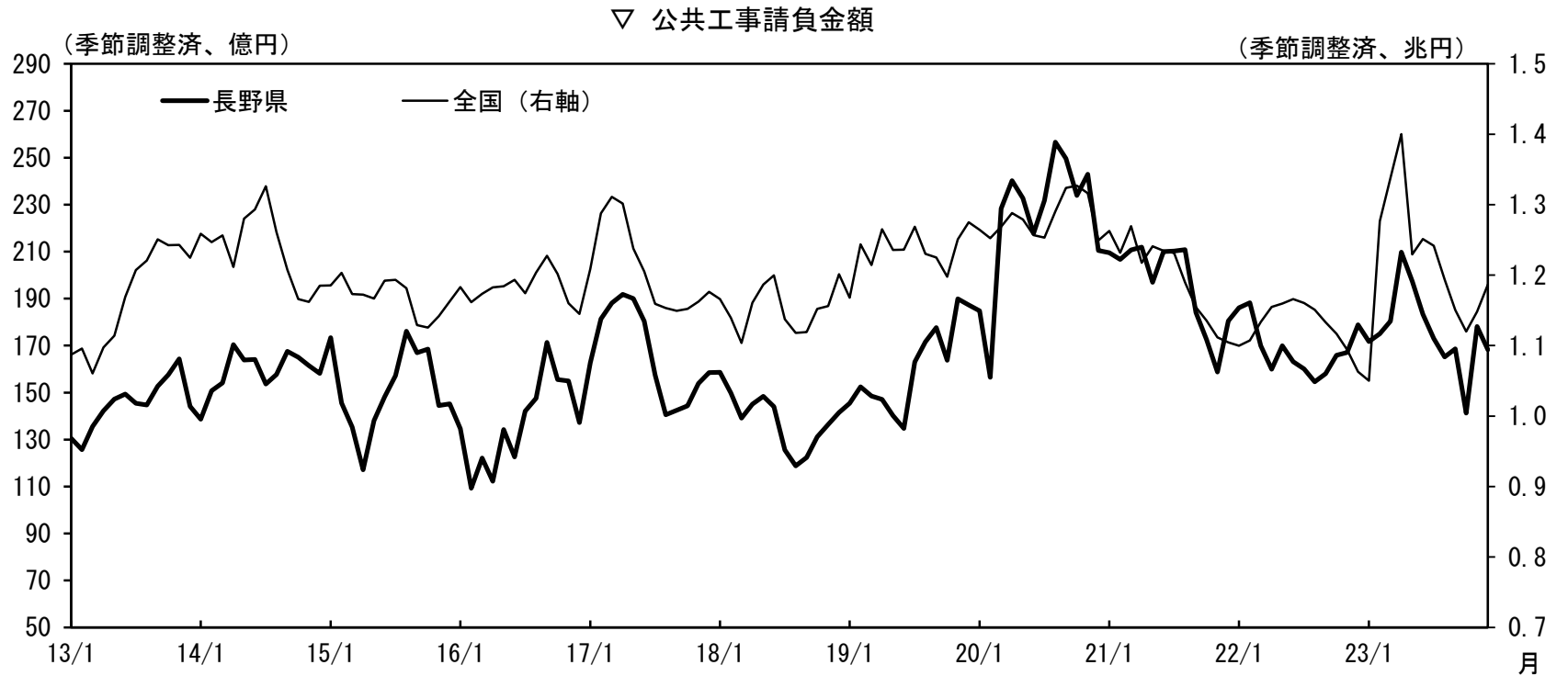
【前回からの変化】

23/12月	24/2月
<p>長野県経済は持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は増加している。・個人消費は緩やかに増加している。・住宅投資は弱含んでいる。・公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。・生産は横ばい圏内の動きとなっている。・雇用・所得は持ち直している。	<p>長野県経済は持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none">・設備投資は増加している。・個人消費は緩やかに増加している。・住宅投資は弱含んでいる。・公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。・生産は横ばい圏内の動きとなっている。・雇用・所得は持ち直している。

1. 実体経済

公共投資

公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。



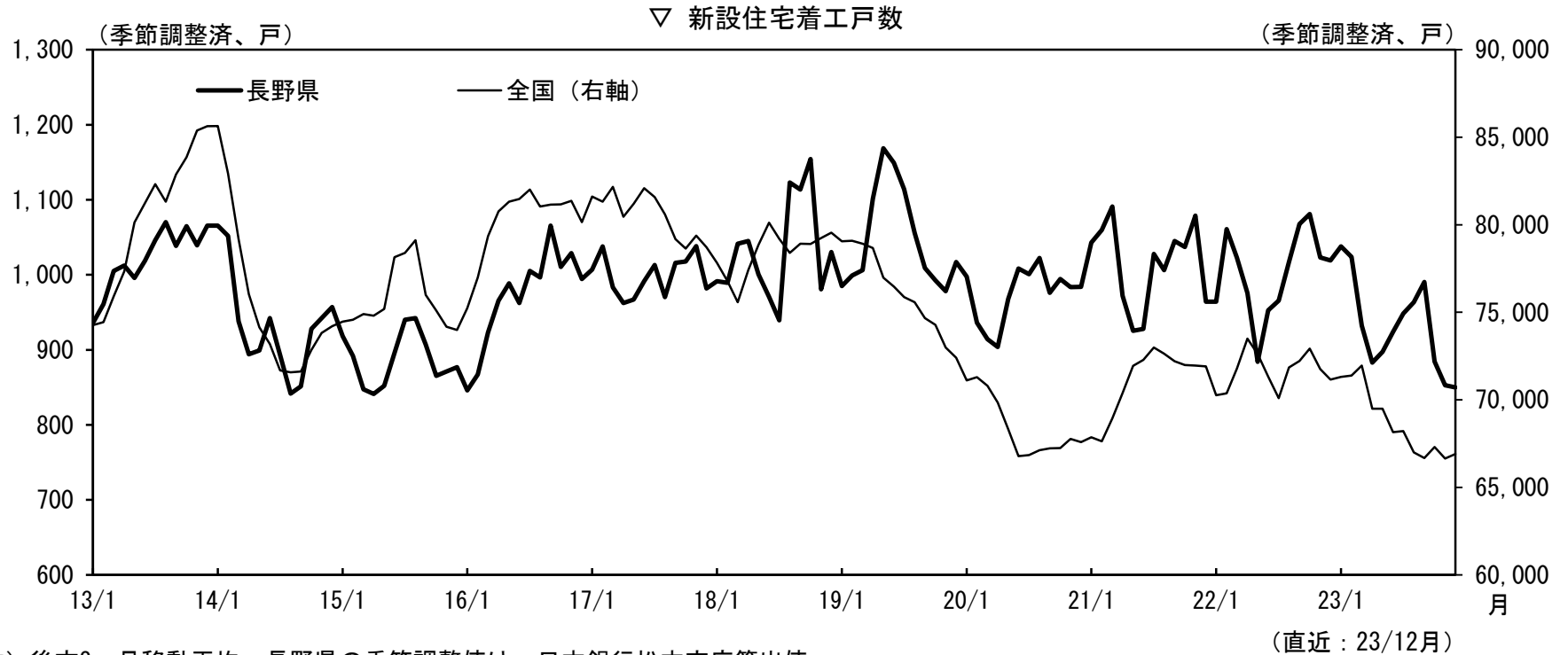
(注) 後方3ヶ月移動平均。季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。
(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

(直近：23/12月)

1. 実体経済

住宅投資

住宅投資は弱含んでいる。



(注) 後方3ヶ月移動平均。長野県の季節調整値は、日本銀行松本支店算出値。
全国は、季節調整替えに伴い、過去のデータを遡及改定。
(出所) 国土交通省、長野県「建築着工統計」

1. 実体経済

設備投資

設備投資は増加している。

設備投資は、23年度は前年度を上回る計画となっている。

輸出は、23年度は前年度を下回る計画となっている。

企業収益は、23年度は前年度を下回る計画となっている。

長野県

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	4.8	54.3
非製造業	- 11.2	12.5
全産業	2.6	49.4

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	16.0	- 4.3

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	- 15.6	- 16.5
非製造業	16.2	- 3.0
全産業	- 12.0	- 14.6

全国

▽ 設備投資額

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	9.0	14.6
非製造業	9.3	11.7
全産業	9.2	12.8

▽ 輸出(売上高)

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業 <大企業>	16.1	2.9

▽ 経常利益

(前年度比、%)

	22年度	23年度 計画
製造業	8.0	2.4
非製造業	24.0	5.2
全産業	16.2	4.0

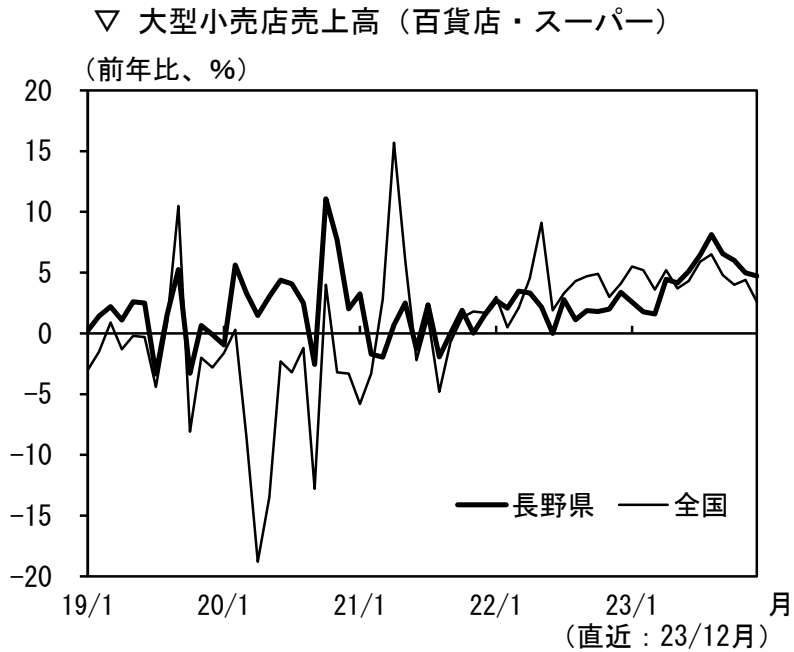
(出所) 日本銀行、日本銀行松本支店「企業短期経済観測調査(23/12月)」

1. 実体経済

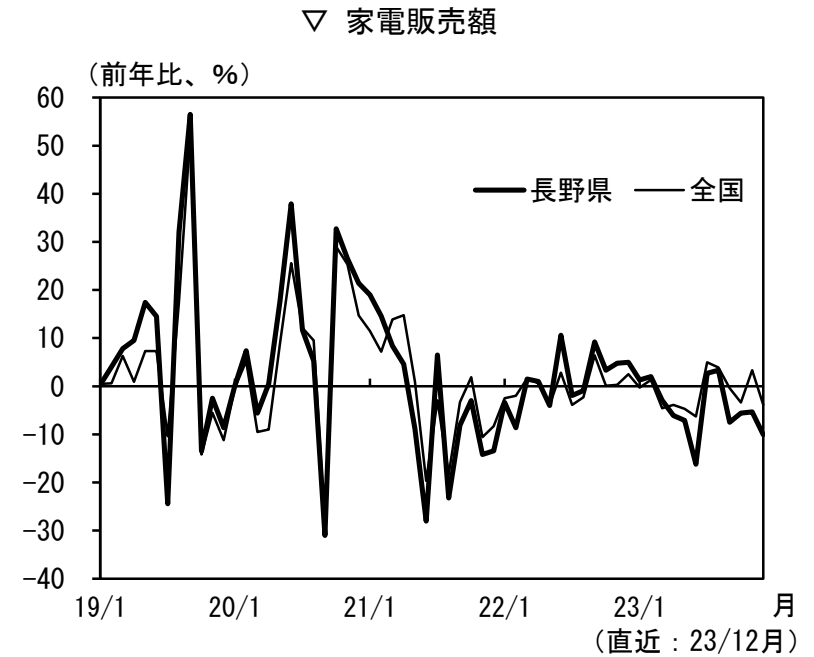
個人消費

個人消費は緩やかに増加している。

県内大型小売店（百貨店、スーパー）売上高（当店調べ<店舗調整前>）は緩やかに増加している。家電販売額は弱めの動きとなっている。新車登録台数は増加している。サービス消費は緩やかに増加している。



（出所）長野県：日本銀行松本支店
全国：経済産業省「商業動態統計」



（出所）経済産業省「商業動態統計」

1. 実体経済

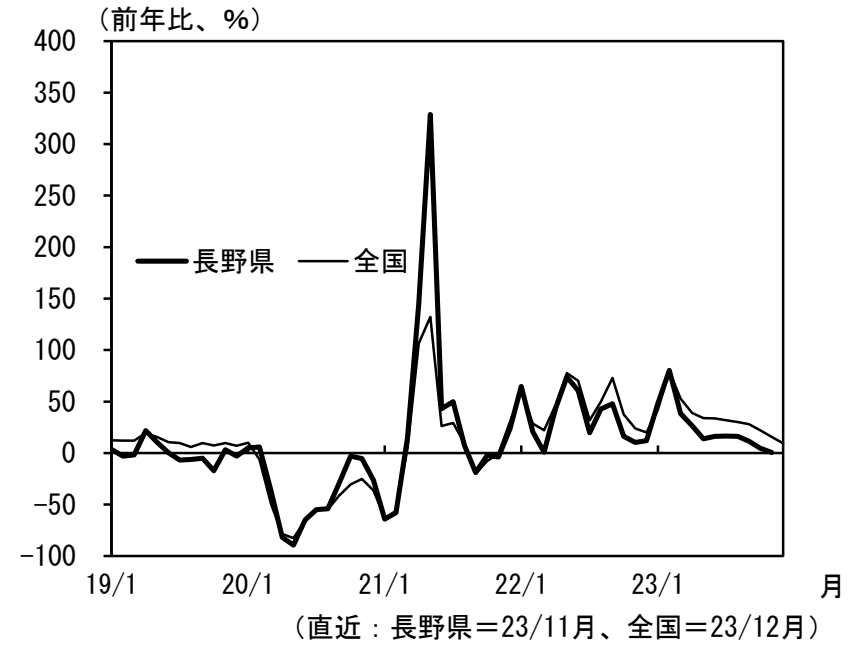
個人消費

▽ 新車登録台数



(出所) 長野運輸支局「新車新規登録台数」

▽ 延べ宿泊者数



(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」

1. 実体経済

生産

生産は横ばい圏内の動きとなっている。



（出所）経済産業省、長野県「鉱工業指数」

（直近：長野県=23/11月、全国=23/12月）

1. 実体経済

生産

半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。

自動車関連は増加している。

機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。

飲料は持ち直している。

【前回からの変化】

23/12月	24/2月
半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。 自動車関連は増加している。 機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。 飲料は持ち直している。	半導体関連・電子部品等は下げ止まっている。 自動車関連は増加している。 機械・同関連部品等をみると、計器、工作機械、成形機およびバルブは横ばい圏内の動きとなっている。 飲料は持ち直している。

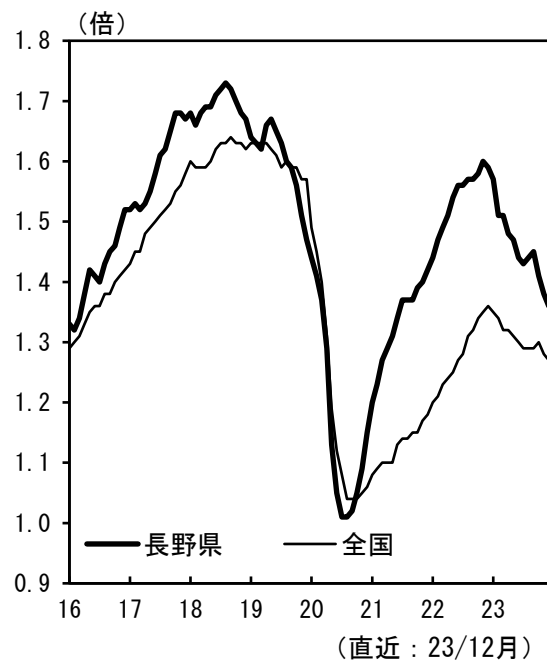
1. 実体経済

雇用・所得

雇用・所得は持ち直している。

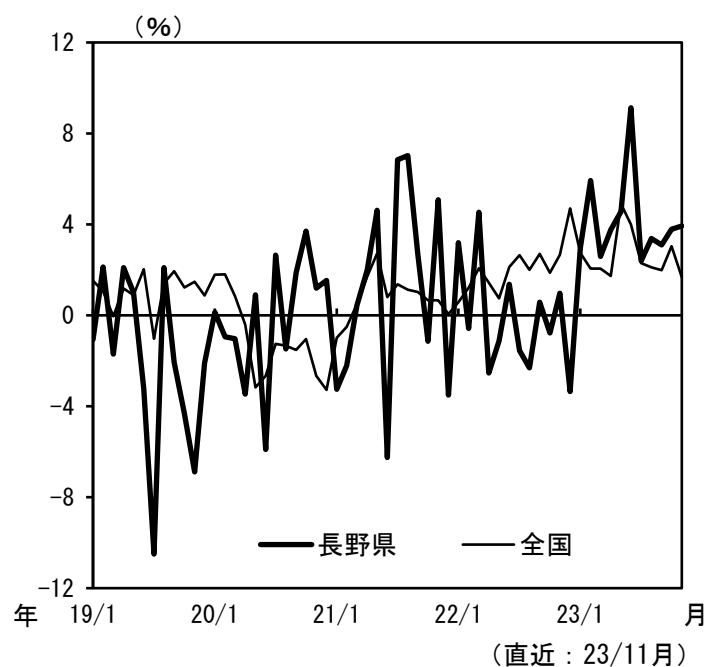
有効求人倍率は、低下している。雇用者所得および就業者数は、前年を上回っている。

▽ 有効求人倍率（季節調整済）



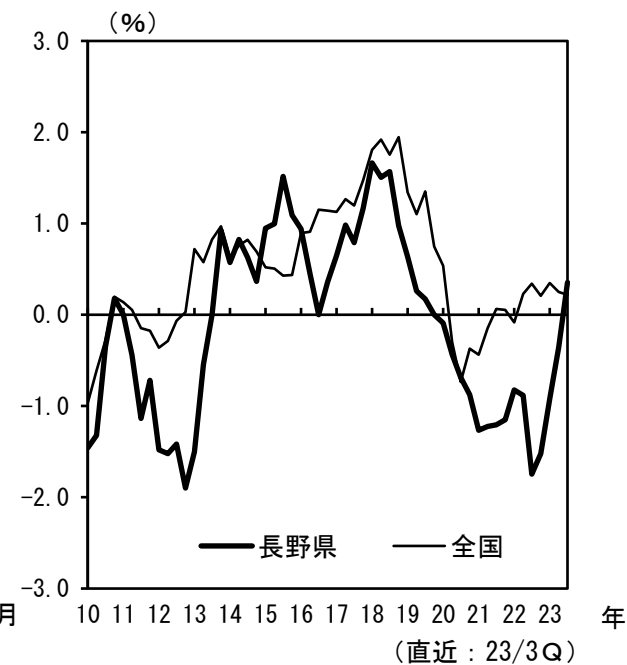
(出所) 厚生労働省、長野労働局
「職業安定業務統計」

▽ 雇用者所得（前年比）



(注) 現金給与総額指数×常用雇用指数の
前年比。
(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 就業者数（前年比）

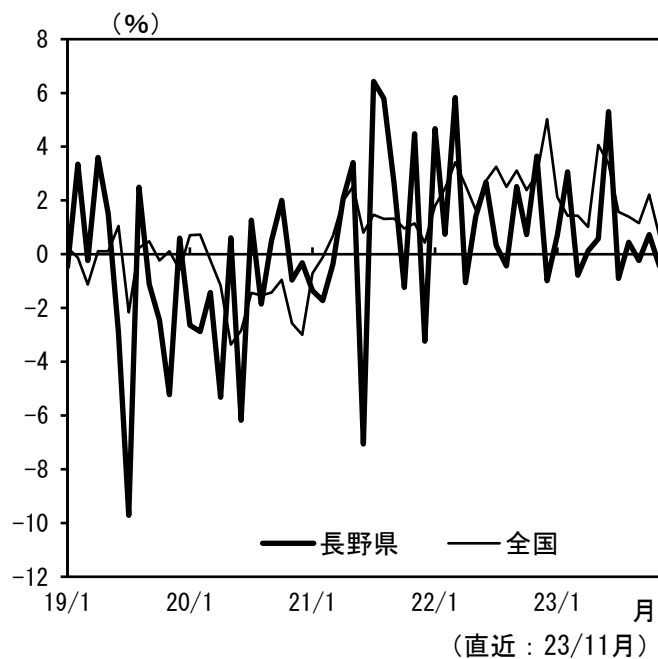


(出所) 総務省「労働力調査」

1. 実体経済

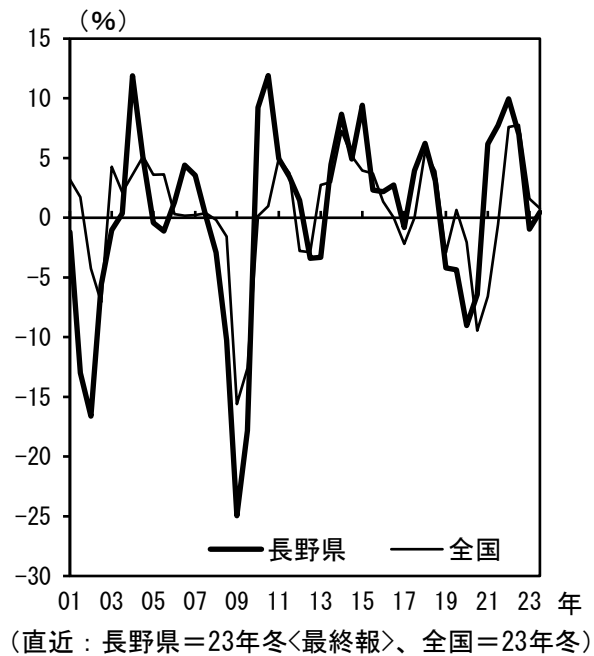
雇用・所得

▽ 名目賃金（前年比）



(出所) 厚生労働省、長野県「毎月勤労統計」

▽ 平均賞与妥結額（前年比）



(出所) 長野県：長野県
「夏季・年末一時金要求・妥結状況調査」
全国：厚生労働省
「民間主要企業夏季・年末一時金妥結状況」

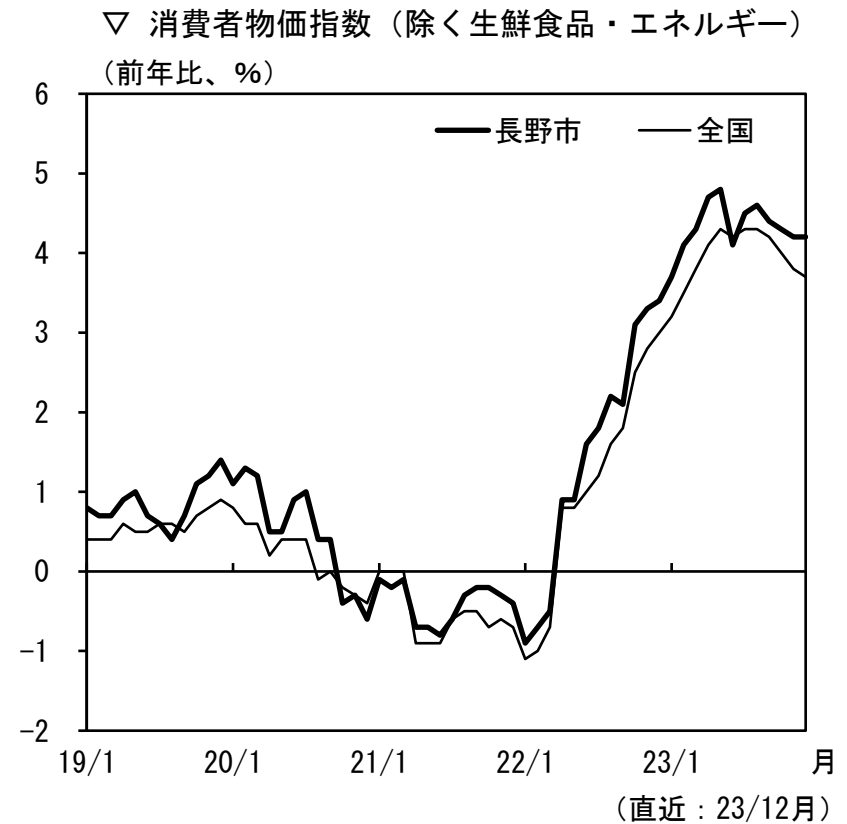
1. 実体経済

物価

消費者物価指数（除く生鮮食品）をみると、23/12月は前年を上回っている。



（出所）総務省、長野県



（出所）総務省、長野県

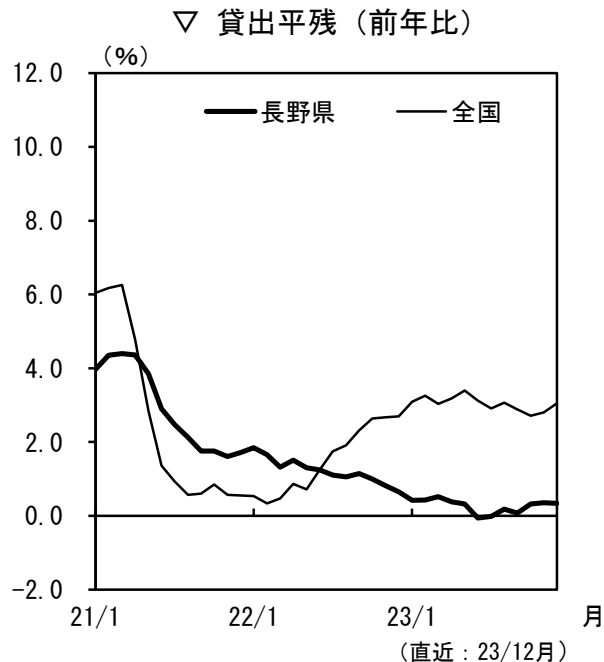
2. 金融

貸出金・預金

貸出残高は、個人向けの増加により、前年比で0%台前半のプラスとなっている。

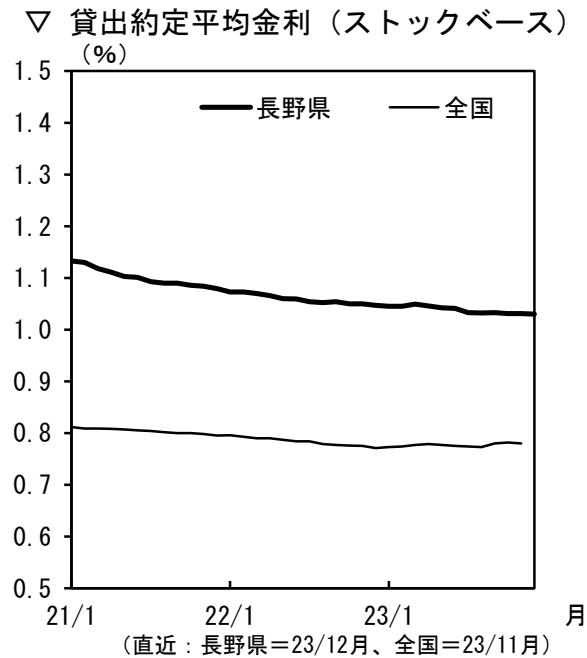
貸出約定平均金利は、横ばい圏内で推移している。

預金残高は、個人預金の増加により、前年比で1%台のプラスとなっている。



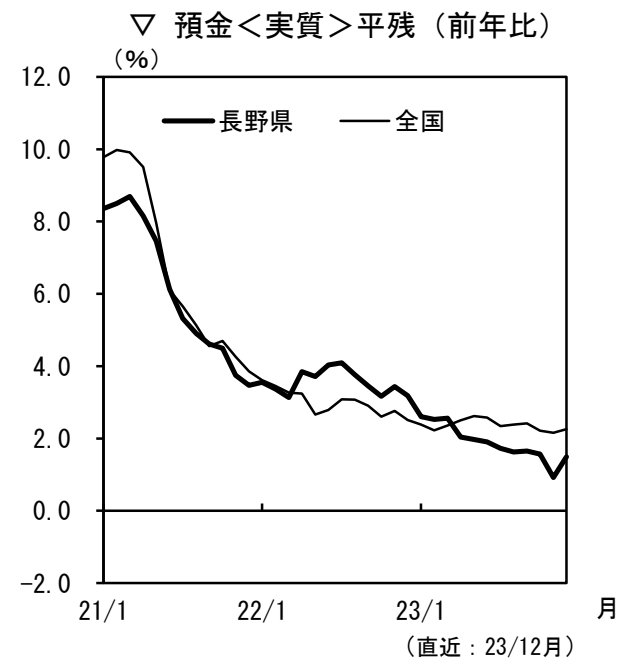
（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ、信託3行（三菱UFJ信託、みずほ信託、三井住友信託）、あおぞら銀行、SBI新生銀行、信金の合計。
・「全国」直近データは速報。

（出所）日本銀行



（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分。「全国」は銀行本体の設立根拠が国内法に準拠している銀行のうち、日本銀行と取引のある銀行（整理回収機構およびゆうちょ銀行を除く）。

（出所）日本銀行



（注）・「長野県」は管内に本店を置く銀行および信金の県内店舗分（表面預金から切手手形を除いた額）。「全国」は都銀、地銀、地銀Ⅱ（表面預金から切手手形を除いた額+④）。

・「全国」直近データは速報。

（出所）日本銀行